

新型コロナウイルスに関連した患者の発生について

都内の医療機関から、今般の新型コロナウイルスに関連した感染症の症例が報告されましたので、以下のとおり、お知らせします。

番号	年代	性別	居住地	職業	症状	発症日	渡航歴 (注)
53	70代	男性	都内	自営業	発熱、咳	2月23日	無
54	30代	女性	都内	会社員	発熱、咳	2月20日	無
55	40代	男性	都内	自営業	発熱、咳	2月25日	無
56	90代	男性	都内	無職	発熱、咳、息切れ	2月26日	無
57	30代	女性	都内	会社員	なし	—	無
58	50代	女性	都内	施設職員	発熱、咳	2月23日	無

(注) 発症前14日以内における、中華人民共和国湖北省及び浙江省並びに大韓民国大邱広域市及び慶尚北道清道郡への滞在歴

- 上記について、重篤な症状を呈するのは、番号56の患者です。
- 都が報道発表済みの患者数は、上記を含め、計58名です。
- ※ 患者・御家族の人権尊重・個人情報保護に御理解と御配慮をお願いします。

(参考) 東京都健康安全研究センターの検査状況(3月5日分)

検査実施数131件 検査実施数(累計)2119件

【問い合わせ先】
福祉保健局健康安全部感染症対策課
電話 03-5320-4482

【都民の皆様へ】

- 都民の皆様におかれましては、風邪や季節性インフルエンザと同様に咳エチケットや手洗いなどの実施がとても重要です。感染症対策に努めていただくようお願いいたします。
- 次の症状がある方は「新型コロナ受診相談窓口（帰国者・接触者電話相談センター）」にご相談ください。

- ・ 風邪の症状や 37.5℃以上の発熱が 4 日以上続いている。
（解熱剤を飲み続けなければならないときを含みます）
- ・ 強いだるさ（倦怠感）や息苦しさ（呼吸困難）がある。

※ 高齢者や基礎疾患等のある方は、上の状態が 2 日程度続く場合

- 新型コロナ受診相談窓口でご相談の結果、新型コロナウイルス感染の疑いのある場合には、専門の「新型コロナ外来（帰国者・接触者外来）」をご紹介します。マスクを着用し、公共交通機関の利用を避けて受診してください。

なお、現時点では新型コロナウイルス感染症以外の病気の方が圧倒的に多い状況であり、インフルエンザ等の心配があるときには、通常と同様に、かかりつけ医等に御相談ください。

【相談後、医療機関にかかるときのお願い】

- 新型コロナ受診相談窓口（帰国者・接触者電話相談センター）から受診を勧められた医療機関を受診してください。複数の医療機関を受診することはお控えください。
- 医療機関を受診する際にはマスクを着用するほか、手洗いや咳エチケット（咳やくしゃみをする際に、マスクやティッシュ、ハンカチ、袖を使って、口や鼻をおさえる）の徹底をお願いします。

【相談窓口について】

東京都における相談窓口については、こちらを御参照下さい。

「新型コロナウイルス感染症にかかる相談窓口について」（東京都）

<https://www.fukushihoken.metro.tokyo.lg.jp/iryo/kansen/coronasodan.html>

（参考）

- ・ 「新型コロナウイルス感染症について」（厚生労働省）
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html
- ・ 「新型コロナウイルス感染症に関する情報」（東京都感染症情報センター）
<http://idsc.tokyo-eiken.go.jp/diseases/2019-ncov/>